

Special  
Olympics  
Nippon  
Niigata



# さ(お)う

2019年12月 No. 31  
発行：認定NPO法人SON・新潟  
【事務局】 〒950-2044  
新潟市西区坂井砂山4丁目22-19  
TEL:025-378-0171  
FAX:025-378-0172  
E-mail:niigata@son.or.jp  
公式HP:https://son-niigata.com/

スペシャルオリンピックス(SO)とは・・・

知的障害のある人たちに、日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。スペシャルオリンピックスでは活動に参加する知的障害のある人を「アスリート」と呼んでいます。

## ～設立15周年を迎えました～

「創立15周年～その活動を振り返って」

理事長 平山 征夫



令和元年も終わろうとしています。スペシャルオリンピックス日本・新潟(以下SON・新潟)にとりまして、今年が設立15周年でした。先月多くの関係者の方々にご参加頂き、お祝いの会を開かせて頂きました。2004年全国24番目の地区組織としてスタートしましたが、現在39か所でトレーニングプログラムを持ち、480人を超えるアスリートが参加する全国でも有数の団体に成長しました。それには関係行政、本部、福祉関係者、支えてくださった多くのボランティア、そして何よりも熱心に取り組んできたファミリーの方々などの力が大きかったと思います。ここに深く感謝申し上げます。有難うございました。

一番の思い出は、やはり2016年2月に開催しました「第6回冬季ナショナルゲーム・新潟」です。苦労も多かったですが、この大会で多くの感動と何よりも活動への自信を得ることが出来ました。現在そのレガシーとして更なるSO活動への理解とアスリートの拡大などに取り組んでおります。15周年を機会に次の飛躍に一層の関係者の方々のご支援をお願い申し上げます。

「15周年を迎えて」

理事・運営委員長 久保田 健

知的障がいのある方の「生涯スポーツ」の場がほとんどなかった頃、「生活につながる体育」というテーマを与えられ体育の研究授業に取り組む中、実際には「つながらない」現状に焦りを感じていた時に会ったのが、SOでした。

細川佳代子さんの講演を聞いた時、全身に電気が走るようなショックを受けると同時に、「これに取り組まなければ、自分は一生後悔する」と直感し、賛同者やファミリー・アスリートの存在に支えられながら、自分なりに出来ることを精一杯やらせてもらいました。

SOの存在が多くの人を結び付け、新たなプログラムが生まれ、さらに地域の輪が広がっていく。そんな15年の変化を間近で見ることができ、本当に幸せだったと思います。

これからは、SON・新潟が、次の時代に相応しい「アスリートファースト」の団体となることを目指して、すべての関係者で様々な考え方を共有していく必要があると感じています。

これから15年後には、どんなスポーツ環境が出来ているのでしょうか。とても楽しみです。

## 11/17 15周年記念祝賀会を行いました！

SON・新潟フレンドシップサポーター第1号に音楽家の橘光一さんの就任が発表されました。なんと演奏も2曲披露してくださいました！



司会は上野さん、落合さん、mit佐藤さん、唐津さん



アルビレックス新潟・舞行龍ジェームズ選手からのメッセージ！



新潟市ダンスプログラム『H&D』

認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本 設立15周年記念祝賀会



来年の北海道へ新潟選手団の激励セレモニー



小千谷市よさこいプログラム



【新潟市 万代シルバーホテル「万代の間」にて】

**2002年**

1/16 第1回スタッフ会議  
スペシャルオリンピックス  
日本・新潟をすすめる  
会発足 新潟市 ほから  
か福祉園

7/6 バスケットボールプ  
ログラム開始 西総合ス  
ポーツセンター

9/3 SON新潟設立準備委  
員会発足

10/19 ボウリングプロ  
グラム開始 新潟交通シ  
ルバーボウル

**2003年**

1/25 スキープログラム  
開始 長岡市営スキー場

2/16 スキープログラム  
開始 新井スキー場

4/19 ジュニア親子プロ  
グラム 新潟大学付属養  
護学校

12/20 クロスカントリー  
スキーコーチクリニック  
苗場

**2004年**

伊藤文吉初代会長就任  
2/27～29 冬季ナショナル  
ゲーム長野

4/4 SON・新潟  
発足

クロスカントリースキー  
プログラム開始

**2005年**

卓球・バドミントン・  
十日町水泳・妙高水泳・  
陸上競技・キッズプロ  
グラム開始

第1回チャリティゴルフ  
大会

**2007年**

第1回全県SP会議開催

**2009年**

共生フォーラム2009開催  
トキメキ新潟大会  
オープン種目としてフロ  
アホッケー交流競技会  
ユニファイド形式で  
9チームが参加

**2010年**

平山征夫会長就任

**2011年4月**

事務局 新潟市坂井砂山  
へ移転

**2014年**

NPO法人化

**2016年**

冬季ナショナルゲーム  
新潟開催

**2019年**

認定NPOに認められる  
フロアホッケーフェス  
ティバル開催  
SONユニファイドスク  
ールに2校認定  
15周年記念祝賀会  
橘光一さんがフレンド  
シップサポーター  
第1号に

**SON・新潟 15年の歩み**

2018年末現在、SON・新潟は11市39のプログラムを実施、参加アスリートは480名を超え、全国3番目の人数となりました。2002年の第一歩から15年。一人一人の歩みが大きな勇気に、たくさんの笑顔になりました。これまで参加したアスリート、支えてくださったボランティアの皆様、ご支援いただきました企業・団体の皆様に心より深く感謝申し上げます。

16年目の新たな一歩も、皆様とともに。引き続き応援のほどよろしくお願いいたします！

**アスリート・  
ファミリーから****新潟市バスケットボールスキルアッププログラム**

アスリート 小西 俊彦

ぼくがSOに参加したのは、ボウリングとバスケットが同じプログラムの中からです。今は、バスケットのスキルアッププログラムに参加しています。

今までたくさんの試合に出てきました。一番の思い出は、2006年の熊本大会です。最後の試合は48対47。1点差でぼくたち新潟が愛知に勝ち金メダルをとりました。うれしくて今でも覚えています。月2回の練習は、大変だけど頑張ってる練習しています。チームのみんなとこれからも頑張っていきたいです。

ファミリーより

余暇活動が少ない子ですが、プログラム楽しく行って帰ってくるだけで、ありがたいと思っています。

**新潟市ボウリング、アルペンスキー、ダンスプログラム アスリート 佐藤 由佳**

スペシャルオリンピックスに入ってお友達がたくさんできてうれしいです。ボウリング、スキー、ダンス楽しいです。もっと上手になりたいです。ずっと続けていきたいです。

ファミリー 佐藤 佳奈子

ボウリング、スキー、ダンスと参加しています。ボウリング当初は打球がゆっくりゴロゴロ転がっていたのが、今では皆プロに負けにくいくらい上手になってきました。

県外の大会でアスリートと顔なじみになり、いろいろな場所でお会いする機会が増えたのもSOのおかげです。長く続けてこれたのもボランティア、ファミリーと一緒に楽しんで参加できているからです。

**長岡市アルペンスキープログラム アスリート 石田 光**

私は6歳でスキーを始めましたが、それまではただ滑っているだけでした。プログラムに参加するようになり、ボールの外側を回転しながら滑る練習をはじめ、それが楽しくなりました。大会に出場すると、他県の人たちとも知り合えて4年後に再び会えるのが楽しみです。メダルという目標があるのも、励みになります。いつも優しく教えてくださる指導者の方々、ありがとうございます。これからも元気に頑張ります。

ファミリー 石田 久美子

息子は、正式な設立の2年前からの参加です。このように大きな輪が広がっていったことは喜ばしい限りです。当初、中越アルペンは活動日が少なく、上越、下越の会場に参加させていただくこともありました。大会、合宿も中越からは一人でしたが、親の心配をよそに本人は競技、交流会、宿泊が楽しくて、帰るなり次回を心待ちにしている次第でした。

全て関係者、指導者の方々のおかげと、親子共々大変感謝しております。

**小千谷市クロスカントリースキープログラム アスリート 角谷 真人**

クロスカントリースキーを始めて一年後の2008年山形NGでの金メダルほんとうに嬉しかったです。2009年のアイダホWGでは銀メダルを取ることができました。

こうした経験が何事にも恐れずチャレンジする僕を育ててくれました。

ファミリーより

息子がSOに関わりもう15年が過ぎました。継続できるのか不安でしたが、仲間やコーチ、地域の方々からたくさんの応援を頂き感謝しています。この間海外大会に参加し、自分に自信を持って生活している姿が誇らしいです。

SO日本では、今年、全国で7つの学校について、ユニファイドスクールと認定しました。新潟では、新潟医療福祉大学と南魚沼市立北辰小学校の2校が認定されました。

ユニファイドスクールとは、SOが学校と連携し、ユニファイドスポーツ®の機会を生徒・学生に提供することで、将来の社会活動を担う生徒・学生に障害のある人と触れ合い、スポーツを通じてお互いの理解を深めること、またその結果として、共生社会の実現を促進させることを目的として立ち上げた制度です。

新潟医療福祉大学では、ユニファイドプログラムやHAP（ヘルシーアスリートプログラム）などの取り組みが行われております。

南魚沼市立北辰小学校では、SOスクールやSOスポーツクラブの取り組みが行われております。

8月と9月に、平山理事長が両校を訪問し、ユニファイドスクール認定証をお渡しさせていただきました。

これからもユニファイドの取組みを、継続・拡大していきたいと思っております。

**新潟医療福祉大学、南魚沼市立北辰小学校が  
ユニファイドスクールに認定されました！**

新潟医療  
福祉大学

南魚沼市  
立北辰小  
学校



**小千谷市クロスカントリースキー・陸上競技 副運営委員長 谷口 博文**  
 2004年4月スペシャルオリンピックス日本・新潟設立。この年に中越地震、翌年中越沖地震に見舞われました。

当時、アスリートは放課後や祝日などはほとんどが自宅で過ごす生活でした。そんな日常を変えたくて、スポーツを通して社会参加や自立（就労）に結びつきたい思いでS0活動をスタート。

2005年2月26日～3月5日に長野県白馬村等においてスペシャルオリンピックスワールドゲーム長野大会が開催され小千谷から3名のアスリートが参加し大活躍でした。これをきっかけに、スポーツの持つ力が多くの障害のある方達に勇気と希望を与えてくれました。

**新潟市バスケットボールスキルアッププログラム**

コーチ 青山 輝巳

2002年の準備会発足時に、バスケ競技経験者ということで誘われ参加をして早いもので17年が経過をしました。プログラムの内容といえば、ゴール盤は低くディビジョニングもない中で、先ずはボールに慣れることとルールを覚えることからのスタートでした。私を含めたボランティアは、アスリート理解がスタートだったように覚えています。シュートが決まった瞬間のアスリートの笑顔！その顔見たさに、ボランティアを続けてこれたように思います。バスケというスポーツを通して、アスリートの無限の可能性が引き出され、ボランティアもいろんな意味で成長が出来たS0の活動の素晴らしさに今感謝しています。

**第四卓球プログラム コーチ 三林 けい子**

「スペシャルオリンピックスを知ってますか。」17年前、細川さんから聞かれ、今では私が日常会話で使っています。初めての活動分野に戸惑いは多かったですが遠征先への同行経験が自分を大きくしてくれました。

最近卓球プログラムではママたちが「球拾いだけでなくプレーがしたい」と練習会を始めました。ユニファイドの種目ができたこともきっかけとなりました。15年を期に引退しますがサポーターとしてこれからも関わっていきたいと思います。

**上越妙高 競泳プログラム コーチ 佐藤 浩子**

SON・新潟設立15周年 おめでとうございます。そして、この15年間支えて下さった皆様に心からお礼申し上げます。上越・妙高水泳プログラムは2005年にスタートしました。平均35名程のアスリートと共に、活動して参りました。私も、ヘッドコーチとして夏季NG4回、ギリシャ・アテネでのWGと各大会に参加し、アスリートと共に沢山の感動と喜びを分かち合ってきました。14年前から参加しているアスリートもすっかり大人になりました。アスリート達の頑張ってる姿・笑顔大好きです。この笑顔をいつまでも支えていけたら、とこれからも大切に活動して行きたいと思っています。

14年前の2006年熊本大会



コーチからメッセージ

**新潟市ボウリングプログラム**

コーチ 中澤 圭司

その昔…ラブラ万代の場所に「シルバーボウル」があった頃…SON・新潟と出会ってもう15年以上の時間を共にしています。毎月2回のボウリング…ボールを持つことさえもできなかったアスリート…今…思い切り楽しみ、競い、喜ぶ姿…素敵な時間の積み重ねに感動しています。

S0…日々生活に追われ「慌ただしく、心にゆとりのない自分」を「心あたかな自分」に変えてくれる大切な時間です。

**「長岡長生ライオンズクラブさんと歩んだ15年」  
 長岡市アルペンスキー・バスケットボール・よさこいプログラム代表 山田 香苗**

S0という言葉も、自分を含め支援学校の職員がほとんど知らなかった2004年、長岡長生ライオンズクラブさんは、翌年の世界大会に向けてトーチランを実施してくださいました。10年後、2016新潟大会に際しても、トーチランを開催し、2004年の感動を再び実現してくださいました。また、シーズン中には、スキー場まで駆けつけて、温かい豚汁やカレーで、私たちを励ましてくださいました。作っていただいたピブスは、私たちの誇りです。

**スペシャルオリンピックス2020北海道 開催！**

来年2月に「2020年第7回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・北海道」が開催されます。新潟から6種目64名の選手団を派遣します。皆様応援をよろしくお願いいたします！

- 大会スローガン「ともに生き、ともに拓く」
- 開催日程：2020年2月21日（金）～23日（日）3日間
- 開催地：北海道内各所（札幌市、江別市、岩見沢市）
- 参加者数：10,300名

アスリート約650名、役員・コーチ約350名、大会役員・審判約300名、ボランティア約2,000名、観客約7,000名

■ 実施競技/会場：7競技5会場

(アルペンスキー、スノーボード、フィギュアスケート、ショートトラック、スピードスケート、クロスカントリースキー、スノーシューイング、フロアホッケー)



©Special Olympics Nippon

採火式・分火式、トーチランへ  
 谷口副運営委員長が参加しました！

### チャリティゴルフ大会開催！

今年も5月と10月にチャリティゴルフ大会を開催しました。第26回は5/9(木) 笹神五頭ゴルフ倶楽部(阿賀野市)にて95名、第27回は10/10(木) フォレストカントリー倶楽部(新発田市)にて233名ご参加をいただきました。

第27回には上越妙高ゴルフプログラムのアスリート望月辰紘さんが参加し、表彰式では、今年3月のS0夏季世界大会で金メダル獲得の報告をしました。また、mitボランティア3組が、表彰式にて、賞品のお渡しなどをしました。

今年度は、協賛金とチャリティ金を合わせて981,000円と、多くの協賛品をいただきました。いただいた寄付金は、さらなる活動の展開やスポーツプログラム運営、大会参加費、全国・世界大会への選手団派遣のために使わせていただきます。

ご参加及びご協賛をいただいた皆様、大会準備から運営にご協力をいただきました両ゴルフ場様、ありがとうございました。心より御礼申し上げます。



### 10/5 ハートフルフェスタ盛り上がりました

10月5日(日)に小千谷市総合体育館にて、ハートフルスポーツフェスタを開催しました！オープニングはS0よさこいチーム。見るたびにレベルアップしていき会場の空気を一気に温めてくれました！スポーツ体験に、皆で昼食、就労の話など盛りだくさん。小千谷市の様々な関係機関と手を取り合って運営し、アットホームなイベントとなりました。次は見附ふれあい運動会。団体などに関係なく、手を取り合って皆でスポーツを楽しみましょう。(保坂 吉彦)



### チャリティボウリング大会を行いました

昨年のプレ大会に続き、今年度もチャリティボウリング大会を開催しました。会場となった三条サカイボウル様、グラウンドボウル黒埼様、サウンドボウル六日町様のご協力のもと、



県内3会場で9回の予選会・決勝大会を行い、予選会にはアスリート65名、一般102名、決勝大会にはアスリート26名、一般33名、エキシビジョンゲームには13チーム39名の方にエントリーいただきました。チャリティ金として70,567円を頂戴いたしました。大切に使用させていただきます。

全県からアスリート、ファミリー、一般 ボウリングプログラム以外のアスリートの参加もあり、交流の場となりました。また、予選会場が無い上越市からの参加や、今年度から新たに中越地域でも開催することができました。六日町会場では、南魚沼市立特別支援学校後援会やフレンドシップサポーターの橋光さんよりご支援、ご参加をいただきました。



アスリート、一般の部も一緒に同じレーンでプレーし、ハイタッチをしながら、ユニファイドの形が自然に生まれたように思います。開催にあたりご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

### 10/27 親子ふれあい運動会inみつ 開催しました

こどもゆめ基金の助成を受けて、SON・新潟初の試みとして「ふれあい運動会inみつ」を開催しました。地域交流を目的に新潟県レクリエーション協会、新潟県障害者スポーツ協会の共催という構成で、遊びの体験を入口として公募で参加した子どもたちとその保護者、支援関係者が交流しながらポッチャやフライングディスクなどを楽しみ体験しました。

スペシャルオリンピックス日本・新潟の関係者もほぼオールキャストで運営をサポートしました。平山理事長も集団あそびの玉入れに飛び入りで参加されて汗を流していました。この運動会で知り合ったぶれジョブみつ、見附市手をつなぐ育成会、まごころ学園、自閉症親の会メロディーなどの団体での運動会での出会いを活かして次は、チャリティーボウリング大会の予選会への参加を目指したいと思っています。(徳橋 隆行)

### 2019年夏季競技地区競技会実施報告

5/4 (土) 卓球・バドミントン	@新潟市東総合スポーツセンター	参加者118名(アスリート41名、mit5組)
10/5 (土) 陸上競技	@新潟医療福祉大学	参加者86名(アスリート35名、mit3組)
10/6 (火) サッカー	@みどり森の運動公園	参加者68名(アスリート32名、mit2組)
10/27(火) バスケットボール	@上越市総合体育館	参加者227名(アスリート105名)
11/2 (火) ボウリング	@グラウンドボウル黒埼	参加者98名(アスリート50名、mit3組)

5/26(日) ユニファイドスポーツ	@新潟医療福祉大学	参加者20名
6/15(土) フロアホッケー	@クロスパルにいがた	参加者29名
6/23(日) GOA@上越市市民プラザ/バスケットボール@上越市福祉交流プラザ/陸上競技@高田特別支援学校		参加者40名
7/21(日) バドミントン	@新潟ふれ愛プラザ	参加者19名
9/22(日) GOA	@新潟ふれ愛プラザ	参加者33名

コーチ  
クリニック  
報告

### ご支援いただきありがとうございます (2018. 11. 1~2019. 11. 20・敬称略・順不同)

【寄附(1万円以上)】(一社)新潟県産業資源循環協会/にいがたパイロットクラブ/新潟北ロータリークラブ/長岡長生ライオンズクラブ/メトレス/小林事務機(株)/新潟キワニスクラブ/帯刀建設(株)/東北工業(株)/新潟計量システム/中島映像教材出版/公孫会「無限の会」/NST長岡支社/榊大橋商会/(有)晴和工業/北越後農業協同組合/(株)大光銀行大形支店/新潟県基準寝具(株)/桐澤建設(株)/榊プライムサポート/(有)河上工業所/住友建機販売(株)新潟営業所/富士ゼロックス新潟(株)/榊五十嵐コンピュータープレス/(株)シーアンドエル/フォレストカントリー倶楽部/森織工(株)/(有)玉木商店/新潟ヤナセ(株)/(有)九州マリック/FRAM(フラン)/K.i.サロン/榊AMC/(有)プロインスターナショナル

【賛助企業・団体】榊エフ・エム・シー・新潟/榊CHEZ・TI/榊新宣/新潟県基準寝具(株)/榊塗装内田組/白山神社/森織工(株)/榊本町調剤薬局/長岡長生ライオンズクラブ/(有)晴和工業/新潟環境整備(株)/外山産業グループ/(有)シンクエンジニアリング/新潟地区手をつなぐ育成会/(有)河上工業所

### SON・新潟 事務局より

- 2019S0世界大会。アブダビに出場のアスリート望月辰紘さん、パートナー高島信之さんが「新潟県障害者スポーツ奨励賞」を受賞しました！
- 事務局のメールアドレスが変更になりました。新しいアドレスは [niiigata@son.or.jp](mailto:niiigata@son.or.jp) です。登録の変更をお願いします。
- スポーツボランティア(コーチ・運営手伝い)、競技会ボランティア、イベントボランティアを募集しています。詳しい内容や募集案内はホームページをご確認ください。「出来ることを出来る時に」一緒に楽しみながら活動しませんか？
- 賛助金納入のお願い

スペシャルオリンピックスの活動は、ボランティアと皆様の賛助金・寄附金で支えられています。賛助金は、個人年間一口 3,000円・企業団体年間一口 10,000円となっております。寄附金も同じ口座で受け付けさせていただいております。納入は、右記口座へお振込み(手数料はご負担願います)をお願いします。 ※今号は2019年5月~2019年11月の内容を掲載いたしました。

【振込先】  
ゆうちょ銀行  
記号番号: 00580-5-101963  
口座名: NPO法人 SON・新潟

表紙・題字/皆木能理子/ボランティア